



大阪錦画新詔

大阪大組五區岩井町二丁目本幡平吉の母を祀りて頭を懸るの
 くまじき可なり年々みゆ強欲の弥陀の光を今に手もたぐら
 ず追ひか摺りた死深切ありふ人の思ふに貫ふ古拙の熊鷹等
 澤い養育代が運のつと命を取こ又とらひなびり
 皇の子殺し兇悪終ふ我身おむら
 地獄の可責そのゆゑにふれ
 世業の疲脱を厳しく捕縛
 せられしよ武一人々を
 憎まぬものぞありあうまなり

文花堂誌



傷重

阿波文板

